

## 出会う

扉を開ければ  
大海原にふるえるような帆船が  
空へと続く虹色の道を翔（か）け上り

扉を開ければ  
太古の雪を被った沈黙の山が  
走る風を抱いている

扉の向こうの永遠の地平  
僕の庭に舞い落ちてきたのは  
昨日、メキシコの蝶を揺らした小さな風だ

●

出会う  
光に飄（ひるがえ）る風音  
動物たちの日常に  
音もなく降り注ぐ樹木の愛  
僕は満たされ、満たされ  
ただひとつの器官となって  
待とう

ああ、なんてまばゆいばかりの  
宇宙の雫たちよ

「無題」1968 瀬原和夫 ゆはらかずお(1930～)

東京生まれ。1957年、東京芸術大学彫刻専攻科修了。1958年、新制作協会展新作家賞受賞。1962年、丸善石油芸術奨励賞展大賞受賞。翌、1963年、渡仏。人体彫刻をはじめ、鉄そのままを提示する作品、プライマリー・ストラクチャー風の作品を経て、1970年代には、円柱や曲面を基本にした作品、ガラスを素材にした作品などを制作。1972年に中原悳二郎優秀賞を受賞。  
国立国際美術館所蔵(吹田市)

